

# 災害時の歯科保健対策について (神戸市の取り組み)

令和8年3月12日(木)  
第2回神戸市歯科口腔保健推進懇話会



# 令和7年度の取り組み

## (1) 衛星通信回線（スターリンク）の設置

（参考：令和6年度）災害拠点病院、災害対応病院、神戸市健康局に設置済

### 令和7年度、あらたにスターリンクを追加設置

- ・各区役所（保健福祉課）に2台、北須磨支所（保健福祉課）1台
- ・神戸市歯科医師会、神戸市医師会、神戸市薬剤師会に各1台

南海トラフ地震のような大規模災害の発生時に、すみやかに医療提供体制を確保できるよう、応急処置を担う「救護所」を開設するための拠点となる、各区役所および三師会等関係機関へ衛星通信回線を導入し、災害初動時の救護所の機能を強化する。

- ・スターリンクはインターネット接続サービスであるため、通常の音声電話は使用できないが、それ以外のメール・アプリ電話などの使用が可能。
- ・毎年、防災訓練で使用し有事に備える。



## (参考) スターリンクについて

- スターリンクとは  
アメリカのカリフォルニア州ホーソンに本社を構える航空宇宙メーカー「スペースX」が展開・提供する衛星通信サービス。スペースXが運用する低軌道衛星を介して、エリア・環境に左右されない高速でのインターネット通信を可能にしている。
- メリット
  - ☑ ネット環境がないエリアでも使える
  - ☑ 工事不要で始められる
  - ☑ 回線速度が速い
  - ☑ 事前に電波がつかがる場所か確認できる（※スターリンクアプリを使用）
- デメリット  
空が開けた場所以外では通信が遅くなる。  
※通信を速く・安定させるためには、アンテナを設置する場所の周囲に電波を妨げる障害物がないことが重要



参考文献：KDDI公式サイト

<https://www.kddimatomete.com/magazine/240208102500/>



# 令和7年度の取り組み

## (2) 救護所マニュアルの作成

救護所の運用ルールを明示し、情報共有と役割分担を整理することにより、発災時の対応はもとより平時の訓練に活かし活用していく。

○救護所の開設・運営にあたり、最低限必要と思われる標準的な事項を整理

- ・ 設置基準など画一的なルールに加え、各区が関係者と協議すべき項目を明確化
- ・ 事前準備や発災時の動きを具体化した**アクションカード（手順書）**を作成



開設場所・状況が区によって異なるため、実際の運用に当たり、各区が実情に応じて三師会等関係者と協議して決めていく



# 令和7年度の取り組み

## (3) -1 訓練の実施

### ●長田区との合同防災訓練の実施：令和8年1月10日（土）：長田区役所

- 【災害想定】
- ・勤務時間内に紀伊半島沖でM9.0の地震が発生
  - ・神戸市域で最大震度6強、全域で震度5強以上の揺れが発生
  - ・兵庫県瀬戸内海沿岸部に大津波警報発令
  - ・電気、水道、電話、エレベーターは使用可
  - ・インターネット（光回線、モバイル回線）は使用不可  
⇒代替手段として、衛星通信回線（スターリンク）を使用する

【訓練内容】 第1部 情報連携訓練（健康局、市三師会、長田区役所、長田区三師会）

第2部 電気自動車による救護所への給電訓練（健康局、市三師会）

### ●各区において、区と区三師会等、関係機関との防災訓練の実施

# 令和7年度の取り組み

## (3) -2 訓練の実施 <長田区との合同防災訓練：第1部>

### <主な情報連携訓練の内容>

- ・ 県や関係団体の被災状況に関する情報収集
- ・ 医療機関の開設状況に関する情報収集
- ・ 長田区本部より救護所設置連絡
- ・ 市本部から市医師会へ救護所応援医師の派遣依頼
- ・ 長田区本部より、市本部へ医薬品供給の依頼
- ・ 市医薬品対策班で対応検討



# 令和7年度の取り組み

## (3) -3 訓練の実施<長田区との合同防災訓練：第2部>

### ●EV（電気自動車）による救護所への給電訓練

- ・災害時に協定による市の要請に基づき、EV（電気自動車）を救護所に配車し、電力の供給により医療救護活動を円滑に行う。



# 令和7年度の取り組み

## (4) イエローフラッグの推進

大規模災害時に医療機関や薬局に視認性の高い「イエローフラッグ」を掲示することで、災害時に開院・開局しているかの目印とする。

- ・ 神戸市と災害時の協定を締結している市三師会へ順次、配布予定
- ・ 誰にでも伝わりやすいよう、医療機関へ向かう人をイメージしたピクトグラムと英語表記を組み合わせたデザイン

